

2018 年度冬学期「都市情報の分析Ⅱ」シラバス

木曜 6・7 限 (18:40~21:35)

担当教員：高見淳史，真鍋陸太郎

□講義の目的

都市の計画を考える際は、さまざまな情報を分析し、都市や地域の過去・現在および想定される将来の状況を把握することが必要である。本講義は交通・土地利用・人口に関する情報を取り上げ、分析手法の基礎を習得する。

前半では、人の交通行動や生活活動に関する情報を取り上げ、その調査・分析の方法と交通需要予測についての基礎的な知識を身につける。

後半は、都市を分析する際に使用する地理情報システム (GIS) について、その概念を学ぶとともに、具体的なデータを用いた演習的な分析を通じて実践的な学習を行う。

□講義項目

- | | | | |
|---------------|-----|---------------------------|------|
| 10 月 25 日 (木) | 6 限 | 交通行動分析の基礎的概念 | [高見] |
| | 7 限 | 交通行動の調査とデータ | [高見] |
| 11 月 1 日 (木) | 6 限 | 交通需要予測の基礎 | [高見] |
| | 7 限 | 東京都市圏における土地利用・交通戦略の分析事例 | [高見] |
| 11 月 8 日 (木) | 6 限 | GIS とは? | [真鍋] |
| | 7 限 | 東京都市圏の土地利用・人口の分析 | [真鍋] |
| 11 月 15 日 (木) | 6 限 | 東京都市圏の交通の分析 | [真鍋] |
| | 7 限 | 都市スケール (宇都宮市) の土地利用・人口の分析 | [真鍋] |

□理解すべき事項

交通行動の捉え方、都市交通の需要予測の手法、それを踏まえた計画検討プロセス。
GIS の基礎的な使い方、空間情報データの管理・操作・可視化と解釈の方法。

□成績評価

①出席、②レポート (前半に関連した内容を出題する予定である)、③後半の GIS 課題の提出、の 3 つを勘案して評価する。

□後半についての注意事項

ノート PC を個人所有している場合は、その PC に GIS ソフトウェア「QGIS」をインストールして使用することを推奨する。インストール方法など詳細については、東大まちづくり大学院の新入生ガイダンス時に案内する予定である。